2026年10月29日
一般財団法人JR東日本文化創造財団
MoN Takanawa: The Museum of Narratives

坂本龍一の演奏に再び出会う

Ryuichi Sakamoto | Dialogue

〈WORK 01〉D | Hayato Sumino + Daito Manabe

〈WORK 02〉Opus — dialogue | Ken Furudate + Satoshi Hama

12月よりMoN Takanawaにて開催決定



“100年先へ文化をつなぐ”をミッションに掲げる「MoN Takanawa: The Museum of Narratives（モンタカナワ: ザ ミュージアム オブ ナラティブズ）」（東京都港区、運営：一般財団法人JR東日本文化創造財団）は、音楽家・坂本龍一の遺した音楽と思想を次世代へ繋ぐプロジェクト「Ryuichi Sakamoto | Dialogue」を、2026年12月24日（木）より始動します。本プロジェクトは、角野隼斗と真鍋大度による〈WORK 01〉『D』、古舘 健と濵 哲史による〈WORK 02〉『Opus — dialogue』の2つの演目で構成されます。

■坂本龍一の音と、現代のアーティストが交差する新たな音楽体験

本プロジェクトは会期を前半期〈WORK 01〉・後半期〈WORK 02〉に分け、それぞれ異なるアプローチで坂本龍一の音楽と出会う特別なライブ体験をお届けします。

会期前半〈WORK 01〉では、坂本龍一の音楽に深くインスピレーションを受けた実力派アーティスト角野隼斗・真鍋大度が参加。坂本が遺した演奏 / 音源データをベースに、現代の演奏や映像を重ね合わせることで、聴く者に新たな体験と感動をもたらすコラボレーション作品を解き放ちます。

そして会期後半〈WORK 02〉では、生で聴くことは叶わないと思われていた、坂本龍一最期のピアノ・ソロ演奏『Opus』がコンサートとして実現。本人が遺した演奏データをピアノが受け取り、目の前で鍵盤が沈みハンマーが弦を叩く「生演奏」として忠実に再現されます。また、ビジュアルアーティスト古舘 健・濵 哲史による新たな映像表現にも注目です。

【公式ウェブサイト】https://montakanawa.jp/programs/dialogue

■坂本龍一の音に呼応する2つの「WORK」

〈WORK 01〉D | Hayato Sumino + Daito Manabe

音楽家・坂本龍一が遺したMIDIをはじめとする演奏データや映像などの記録と、角野隼斗、真鍋大度の現在の表現が交差するオーディオビジュアル・パフォーマンス。

坂本龍一の音楽から多大なインスピレーションを受けてきたピアニスト・角野隼斗と、生前の坂本と数々の協働を重ねてきた真鍋大度。角野による坂本作品の演奏を軸に、坂本の演奏データを用いた自動演奏ピアノとの共演やフレーズの受け渡しを通して、記録された演奏と生演奏による音楽的な対話を紡ぎます。さらに、坂本が取り組んだサウンドスケープや電子音楽にも向き合い、ピアノの枠を超えた音の表現に挑みます。

真鍋は、坂本の過去のデータに加えて、2020年に自らライブで取得したデータをもとに音と映像を構築。坂本が遺した記録と角野の演奏を、音と映像が広がる空間の中で結びつけます。スペーシャルオーディオによる立体的な音響と映像演出を通して、坂本と角野の演奏が空間の中で交わり、時空を超えた音楽体験を生み出します。

【公演日程】
2026年12月24日（木）〜26日（土）［全3公演］

〈WORK 02〉Opus — dialogue | Ken Furudate + Satoshi Hama

坂本龍一による生前最後のピアノ・ソロ演奏を記録した長編コンサート映画『Opus』。本作は、残された演奏データをもとにした世界初の舞台作品です。ダムタイプ（Dumb Type）のメンバーとしても多岐にわたる活動を展開する古舘 健と、長年、坂本龍一と主にインスタレーション作品などで協働した濵 哲史。両者は「LIFE - fluid, invisible, inaudible...」以降のインスタレーションや、展覧会「seeing sound, hearing time」、舞台作品『TIME』などにおいて、中核となるエンジニアリング／テクニカルワークを担ってきました。〈WORK 02〉ではこの二人が『Opus』を新しいオーディオビジュアル作品として構築します。

坂本龍一が遺した演奏データ（MIDI）には、一音ごとの強弱や間合い、ペダルの操作が全て克明に記録されており、そのデータによってピアノの鍵盤やペダルが動き、物理的にハンマーが弦を打つことで会場に生の音が生まれます。器楽が曲を奏でるという枠組みを超え、研ぎ澄まされた「音」そのものとなって空間全体に響き渡ります。

幅21m×高さ9mの巨大LEDスクリーンが描き出す広大な映像演出のなかで、目の前で鍵盤が沈みハンマーが弦を叩くピアノの圧倒的な存在感。映像のスケールと、生音ならではの研ぎ澄まされた物質的な緊張感が交差する、新しい音楽空間を全身で体感してください。

なお本公演は、「program A」「program B」の2つのプログラムで構成されています。『Opus』収録曲の「Merry Christmas Mr. Lawrence」「Aqua」「The Last Emperor」などを演奏予定です。

【公演日程】
2027年1月8日（金）〜17日（日）［全18公演］

Opusについて

『Opus』は、坂本龍一がこの世を去る半年前、2022年9月に8日間をかけて収録した、最後のピアノ・ソロコンサートです。2年以上に及ぶ闘病生活のなか、坂本が「日本でいちばん音のいいスタジオ」と評した東京のNHK509スタジオで、長年愛用したヤマハのグランドピアノに向かいました。

代表曲「Merry Christmas Mr. Lawrence」、最後のオリジナルアルバム『12』からの楽曲、そしてYMO時代の「Tong Poo」など、自ら選んだ全20曲を通して、その音楽の軌跡をたどります。

全編モノクロームの映像が映し出すのは、一音一音を慈しむように奏でる指、息遣い、そしてその手に刻まれた時間。静かで美しい演奏は、儚く、心に深く響きます。

コンサート映画として公開され、その演奏を収めたCDも発売された『Opus』は、坂本龍一が最後まで音楽に向き合う姿と、一音一音に込めた思いを伝える作品です。

WEB：https://www.bitters.co.jp/opus/

■プログラム概要

Ryuichi Sakamoto | Dialogue

【公演日】
〈WORK 01〉D | Hayato Sumino + Daito Manabe
2026年12月24日（木）～26日（土）［全3公演］
〈WORK 02〉Opus — dialogue | Ken Furudate + Satoshi Hama
2027年1月8日（金）～17日（日）［全18公演］
【休演日】1月12日（火）
【会場】MoN Takanawa: The Museum of Narratives Box1000
【主催】MoN Takanawa: The Museum of Narratives
【企画協力・監修】KAB Inc.
【協賛】ヤマハ株式会社
【イマーシブオーディオ技術協力】ヤマハサウンドシステム株式会社
【後援】J-WAVE 81.3FM
【公式ウェブサイト】https://montakanawa.jp/programs/dialogue
【SNS】X https://x.com/montakanawa ／Instagram https://www.instagram.com/montakanawa/

チケット販売スケジュール

1. 角野隼斗ファンクラブ先行（抽選）：10月31日（土）12:00～11月3日（火・祝）23:59
角野隼斗ファンクラブURL：https://hayatosum.com/8810
2. イープラス先行（抽選）：11月5日（木）12:00～11月8日（日）23:59
販売URL：https://eplus.jp/dialogue-mon/
3. 一般販売（先着）：11月21日（土）12:00～
販売URL（イープラス）：https://eplus.jp/dialogue-mon/

チケット料金

〈WORK 01〉D | Hayato Sumino + Daito Manabe
・一般：15,400円
・ペアチケット：29,800円
・U25：8,800円
〈WORK 02〉Opus — dialogue | Ken Furudate + Satoshi Hama
・一般：4,800円
・ペアチケット：8,800円
・U25：3,300円
※料金は全て税込価格です

■アーティストプロフィール

坂本龍一 | Ryuichi Sakamoto



1952年東京生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了。1978年『千のナイフ』でソロデビュー。同年、YMOの結成に参加。1983年に散開後は『音楽図鑑』、『BEAUTY』、『async』、『12』などを発表、革新的なサウンドを追求し続けた姿勢は世界的評価を得た。映画音楽では『戦場のメリークリスマス』で英国アカデミー賞作曲賞を、『ラストエンペラー』でアカデミー賞作曲賞、ゴールデングローブ賞、グラミー賞など多数受賞。『LIFE』、『TIME』などの舞台作品や、韓国、中国、日本、ドイツでの大規模インスタレーション展など、アート界への越境も積極的に行なった。環境や平和問題への言及も多く、森林保全団体「more trees」を創設。また「東北ユースオーケストラ」を設立して被災地の子供たちの音楽活動を支援した。2023年3月28日死去。

角野隼斗 | Hayato Sumino



2018年ピティナ特級グランプリ、2021年ショパン国際コンクールセミファイナリスト。シカゴ響、LAフィル、N響、読響などと共演。2024年ロイヤル・アルバート・ホールデビューを経て2025年BBCプロムス出演。同年レナード・バーンスタイン賞、オーパス・クラシック賞（史上初2部門）受賞。カーネギーホールやウィーン・コンツェルトハウスでの公演も成功を収める。2024年Sony Classicalと契約、『Human Universe』で日本ゴールドディスク大賞受賞。2026年最新作『Chopin Orbit』を発表し全国ツアー（全16公演）完売。東大大学院修了。2023年よりNYを拠点に移す。YouTubeでは「かてぃん(Cateen)」として活動し登録者は158万人超。Kアリーナ横浜公演は「屋内のソロピアノリサイタルで販売されたチケットの最多枚数」でギネス世界記録を樹立。クラシックの技巧に加え、音楽を通じて国境や世代を越えたつながりを生み出す存在として、今後のさらなる飛躍が期待されている。

真鍋大度 | Daito Manabe



真鍋大度は、生命、知能、社会がどのように創発するのかを、音楽、映像、プログラミングを通して探究するアーティスト、プログラマ、コンポーザー。2006年にRhizomatiksを設立。現在はStudio Daito Manabeを主宰する。身体運動や筋電などの生体信号を音響や映像へ変換し、人間と機械の相互作用を探求してきた。近年は培養神経細胞、ブレインオルガノイド、スパイキングニューラルネットワークへと研究を広げ、人間、人工生命、AIエージェントの相互作用から音楽や映像を生み出す生成システムを研究・制作している。美術館、公共空間、ライブパフォーマンスで作品を発表。2016年リオデジャネイロオリンピック閉会式の東京への引き継ぎセレモニーでは、演出技術開発、映像演出、光の演出システムを担当。Perfume、坂本龍一、Björk、Nosaj Thing、Squarepusherらとの協働も多数。

古舘 健 | Ken Furudate



「系（システム）」と「知覚の変容」をテーマに、プログラミングを基盤として音響、映像、エレクトロニクス、テキスタイルなど領域横断的に活動。The SINE WAVE ORCHESTRA共同主催（2002〜）、Dumb Typeメンバー（2013〜）。Dumb Typeとしてヴェネチア・ビエンナーレ日本館出展（2022）。文化庁メディア芸術祭大賞（2019）、Prix Ars Electronica Honorary Mention（2004、2019）、佐治敬三賞（2026）などを受賞。坂本龍一＋高谷史郎による「LIFE - fluid, invisible, inaudible...」以降の作品にメインエンジニアとして多数参加。

濵 哲史 | Satoshi Hama



1985年生まれ。音をめぐる現象の観察と操作を起点に、時間の中で知覚と意識が生成される瞬間を探究する。サウンド、映像、光を用いたインスタレーションやパフォーマンス作品を制作。コンピュータ・プログラマとしても多くのアーティストと協働する。2013年より坂本龍一のインスタレーション、シアターピース、コンサートの制作に携わる。2018年よりアーティストグループ・Dumb Typeの活動に参加。

■伝統からマンガ、音楽、宇宙まで。文化の実験的ミュージアム MoN Takanawa: The Museum of Narrativesについて

The Museum of Narratives の頭文字「MoN」には、新たな自分と出会う新しい世界への「門」、そして、未来を考え創造するための「問（問い）」の2つの意味が込められています。





Photo: Yasuyuki TAKAKI

公式ウェブサイト：https://montakanawa.jp/
公式インスタグラム：https://www.instagram.com/montakanawa/ （@montakanawa）
今後の詳細情報は、公式ウェブサイトおよびSNSを通じて順次発信します。

名称	MoN Takanawa: The Museum of Narratives
事業者	一般財団法人JR東日本文化創造財団
敷地面積	8,103.21㎡
延床面積	24,314.31㎡
高さ	44.19m
階数	地上6階・地下3階
主用途	展示場、ホール、飲食施設 等
設計者・デザイナー	品川開発プロジェクト（第Ⅰ期）設計共同企業体 外装デザインアーキテクト／隈研吾建築都市設計事務所

■一般財団法人JR東日本文化創造財団について

当財団は「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」の企画運営を通して、日本の文化創造に貢献するための組織として2022年4月1日に設立されました。「100年先へ文化をつなぐ」をミッションに、これまで育まれてきた伝統や文化に現代の価値観やテクノロジーを融合させ、より広い時間軸と国内外のパートナーとともに国際的な共創、交流、発信を行っていきます。

※「MoN」、「MoN Takanawa」並びに「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」は、一般財団法人JR東日本文化創造財団の登録商標です。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

Ryuichi Sakamoto Dialogue PR事務局

MAIL：dialogue-press@montakanawa.jp